

第4章 基本的な考え方

1 基本目標

「第2章 現状と課題」、「第3章 SDGsについて」及び市長が定めた「明石市教育大綱」の内容をふまえ、教育プランにおける基本目標は次のとおりとします。

《基本目標》

やさしさ・創造力・自分らしさを未来へ

～「SDGs未来安心都市・明石」の担い手づくり～

本市では、市の最上位計画である「あかしSDGs推進計画（明石市第6次長期総合計画）」において、SDGsの考え方を基軸としたまちづくりを推進し、人にも自然にも地球にもやさしく、すべての人が助け合い安心して暮らすことができる、にぎわいと活力が持続するまち「SDGs未来安心都市・明石」の実現を目指しています。

そして、未来の社会が持続可能なものになるかどうかは、本市の子どもはもちろん、世界中の子どもの手にかかっています。また、子どもの明るい未来は子ども自身の手で切り拓いていかなければなりません。そこで、教育プランにおいては、ふるさと明石での豊かな学びを通じて、様々な社会課題を自らの問題として捉え、身につけた資質、能力、態度を活用して、持続可能な社会の実現に向けて自律的に学び、行動に移すことができる子どもを育成することを目指します。

2 育む5つのちから

「基本目標」を実現するため、子どもが身につけるべき資質・能力・態度を、以下のとおり整理しました。教育プランに掲げる各方策に総合的に取り組むことで、子どもにも5つのちからを育んでいきます。



(1) 多様化する社会を生き抜けるちから

自分の良さや可能性を認識するとともに、他人に対する思いやり、興味・関心や高い人権意識を持ち、自ら進んで人間関係を広げることができる。

また、困難な課題に対して果敢に挑戦し、情報を取捨選択して思慮深く考え、自分の意見をしっかりと表現しながらも、他人の意見や立場を尊重し、協力して解決に当たることができる。

(2) 自分の行動や考え方を客観的に見つめるちから

自分の行動や考え方をより高い視点から客観的に見つめなおし、自分の行動や態度の変容につなげることができる。

(3) 夢を描き、自律的に学びに向かうちから

社会に対して自分がどのように貢献したいのか、また、自分が将来どうなりたいたのかについて思い描き、自分の多様な可能性を信じて、自律的に学び、努力する姿勢を身に付ける。

(4) 共に学ぶことの楽しさを知り、それを継続するちから

学ぶこと、仲間と共に成長することのよさや楽しさを知り、生涯にわたってそれを続けたいと思うようになる。

(5) たくましく、健やかに生きるちから

生涯にわたって心身ともに健康で心豊かに過ごすために必要な体力と健康に関する知識を持ち、規則正しい生活習慣と運動習慣を身に付ける。